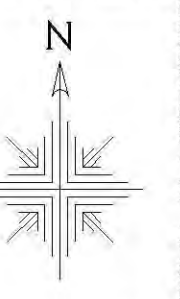
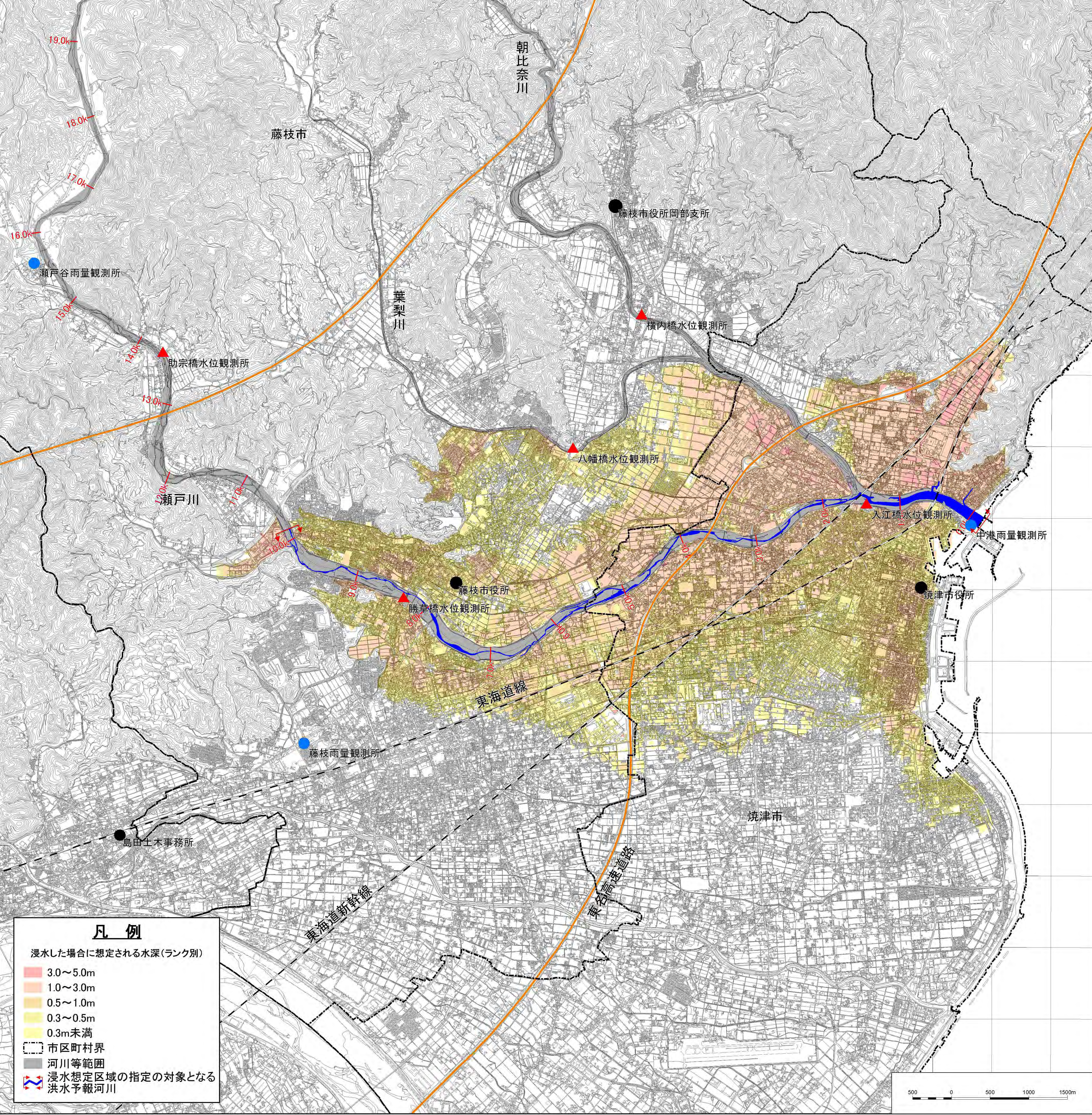


瀬戸川水系瀬戸川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



- 1 説明文
- この図は、瀬戸川水系瀬戸川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、指定時点の瀬戸川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により瀬戸川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前推となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- 作成主体 静岡県
 - 指定年月日 平成30年5月29日
 - 告示番号 静岡県告示第433号
 - 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - 対象となる洪水予報河川
 - 瀬戸川水系瀬戸川(実施区間)
 - 左岸:静岡県藤枝市音羽町二丁目地先金吹橋から海まで
 - 右岸:静岡県藤枝市堀之内一丁目地先金吹橋から海まで
 - 指定の前提となる降雨 瀬戸川流域の24時間の総雨量695mm
 - 関係市町村 藤枝市、焼津市
 - その他の計算条件等
 - この図は、瀬戸川の洪水予報区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図を指示しています。
 - この図は、瀬戸川の河口より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3m未満

市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第183号)
 ※A1判出力時は1:25,000、A3判出力時は1:50,000